



左マージン 2.0cm

上マージン 2.0cm

右マージン 2.0cm

1

25

28

52

法政大学大学院

論文題名

研究科紀要 Vol. 12 (2022 年度)

1 行目に左右につめる

法政大学

9pt 以上

法政大学大学院デザイン工学研究科 紀要の書き方

9pt 以上

18pt 以上

英文の論文題名

10pt 以上

1 行あける

INSTRUCTIONS FOR PREPARATION OF CAMERA-READY MANUSCRIPTS
FOR BULLETIN OF GRADUATE ENGINEERING AND DESIGN STUDIES

1 行あける

法政花子

10pt 以上

Hanako HOSEI

10pt 以上

主査

主査氏名

副査

副査氏名・副査氏名

1 行あける

法政大学大学院デザイン工学研究科建築学専攻修士課程

9pt 以上

1 行あける

The Bulletin of Graduate Engineering and Design Studies of Hosei University will be prepared from camera-ready copy received from authors. All manuscripts should be in Japanese or English. Please follow the instructions printed on this sample paper with regard to the placement of title, authors' names and affiliations as well as main text.

Key Words : Times, italic, 9pt

3, 4 の英文キーワード

9pt 以上, 約 100 ワード

2 行あける

5 文字程度あける

5 文字程度あける

1. はじめに

10pt 以上

これは、法政大学大学院デザイン工学研究科紀要原稿を作成するために必要なレイアウトやフォント等の基本的な情報が記述されています。

本論文集は著者が作成した PDF ファイルをそのまま CD-R 印刷しますので、ここに記載されている事項に従い、PDF ファイル 100MB 以内で作成して指導教員に提出して下さい。原稿は A4 サイズ 2 段組、2 ページ以上 8 ページ以内 100MB 以内でまとめて下さい。PDF ファイルは指導教員に提出してください。

上下辺、左右辺ともマージンは 2cm とします。ヘッダー、フッターは設けません。本文は (25 文字+2 文字+25 文字) の横 2 段組とし、50 行 (行間約 14.4pt) で作成して下さい。また、文字サイズは 9pt 以上を用いて下さい。最後のページは左右をできるだけそろえるようにして下さい。

1 行あける

2. タイトルページのレイアウト

(1) タイトル部

9pt 以上

タイトル部は例のように、1 段組として下さい。1 ページ目の 1 行目のみに、例のように左右に詰めて、「法政大学大学院デザイン工学研究科紀要 Vol.X(20YZ 年 3 月)」、「法政大学」を 9pt 以上を用いて記入して下さい。なお、Vol. と年号を間違えないように注意して下さい。

1 行あけて、タイトルを記述します。タイトルは 18pt 以上を用い、センタリングします。

1 行あけて、英文タイトルを 10pt 以上、大文字、セン

タリングで書いて下さい。

1 行あけて、例のように著者名を 10pt 以上、センタリングで書いて下さい。次の行に、10pt 以上を用いて英文の著者名を書いて下さい。その次の行に、指導教員氏名を書いて下さい。

1 行あけて、著者の所属を 9pt 以上、センタリングにより記入して下さい。

1 行あけて英文概要を、9pt 以上を用いて書いて下さい。このとき、左右を 9pt 以上で 5 文字程度あけるようにして下さい。次の行に 3~4 程度の英文キーワードを例のように、Times, 9pt, italic により記入して下さい。'Key Words' という文字はボールドイタリック体にします。

(2) 本文部分

キーワードの後、2 行あけて本文に移ります。本文は、一般ページと同じです。横 2 段組、50 行 (行間約 14.4pt), 9pt 以上で作成して下さい。

3. 見出し (見出しが複数行に渡る場合には、このようにインデントを付ける)

(1) 章の見出し

見出しのレベルは 3 段階とし、第 1 レベル (章) は、上に 1 行あけて、10pt 以上により「2. 数値計算例」のように記入して下さい。

(2) 節の見出し

第 2 レベル (節) の見出しは前後に空白行を設けず、9pt 以上により「(2) 節の見出し」のように記入して

50

1

下マージン 2.0cm

25

28

52

実際には枠は設けない

1

25 28

52

下さい。

a) 項の見出し ← 9pt 以上

第3レベル(項)の見出しも前後に空白行を設けず、9pt 以上により「a) 項の見出し」のように記入して下さい。

4. 数式および数学記号

数式はセンタリングし、式番号はカッコ付きの通し番号で右詰として下さい。

1行あける

式番号は右詰め

$$F(x) = \frac{\sqrt{a^3}}{(a+b)} \int_{\infty} g(t) dt \cdot e^x \quad (34)$$

1行あける

式は中央

また、数式の前後には1行空白行を設けて下さい。

5. 図表

図表は、本文で引用した箇所に近い場所に置くことを原則とします。原稿末尾にまとめて置くことはできるだけ避けて下さい。

1行あける

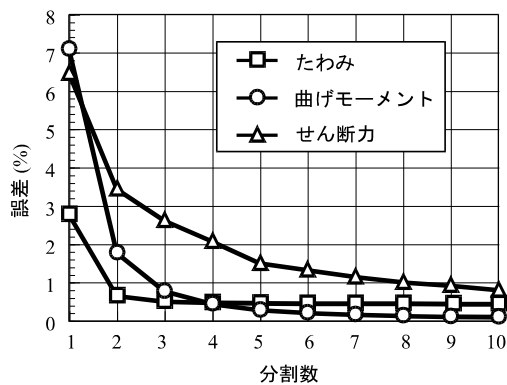


図3 図のキャプションは図の下に置く

1行あける

図表の前後には、空白行を1行設けて下さい。表のキャプションは表の上に、図のキャプションは図の下に、置いて下さい。図番号、表番号は通し番号とし、

図のキャプション
9pt 以上 中央

左右できるだけそろえる

9pt 以上で書いて下さい。英文キャプションの場合には、

Fig.3 や Table 3 などのように Times, 9pt 以上を用いて下さい。

1行あける

Table 3 Sample Table

表のキャプション
9pt 中央

No.	Case	case(Pa)
1	Abcd	123.0
2	Efg	56.7
3	Hijk	-

1行あける

6. 最終ページのレイアウト

最終ページは左右の段落ができるだけそろえるように調整して下さい。

参考文献は引用順に番号を付け、該当個所に[3]のようにカギカッコで指示してください。参考文献の引用リストは例を参考にして、文末に1行あけ、ゴシック体、9pt 以上、センタリングで「参考文献」と記入した後、番号順に記入して下さい。

謝辞：謝辞は結論の後に書いて下さい。

付録 付録の位置

付録は参考文献の前に書いて下さい。

参考文献 ←

10pt 以上

- 1) 川井忠彦, 大坪英臣: 計算工学講演会論文集の書き方, 計算工学講演会論文集, Vol.1, pp.1-2, 2010
- 2) Yamada, Y. et al.: Plastic stress-strain matrix and its application for the solution of elasto-plastic problems by a finite element method, Int. J. of Mechanical Science, Vol.10, pp.343-354, 2009
- 3) 鷲津久一郎: 弾性学の変分原理概論, 培風館, 1992